

# 夏の天候の見通し 6～8月

## 予報のポイント

- 全国的に暖かい空気に覆われやすく、気温は北・東・西日本で平年並か高く、沖縄・奄美で高いでしょう。
- 北・東・西日本では、梅雨の時期（6月から7月）は湿った空気の影響を受けやすく、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。梅雨の時期の降水量は、平年並か多い見込みです。その後は、北日本では天気は数日の周期で変わり、東・西日本では平年と同様に晴れの日が多いでしょう。夏の降水量は、平年並か多い見込みです。
- 沖縄・奄美では、梅雨の時期（5月から6月）は湿った空気の影響を受けやすく、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。梅雨の時期の降水量は平年並か多い見込みです。その後は、太平洋高気圧に覆われ、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。夏の降水量は、ほぼ平年並の見込みです。

## 夏（6～8月）の平均気温・降水量

		平均気温 夏（6～8月）	降水量 夏（6～8月）	降水量 梅雨の時期※
北日本	日本海側	低 20 並 40 高 40% 平年並か高い 見込み	少 20 並 40 多 40% 平年並か多い 見込み	少 20 並 40 多 40% 平年並か多い 見込み
	太平洋側	低 20 並 40 高 40% 平年並か高い 見込み	少 20 並 40 多 40% 平年並か多い 見込み	少 20 並 40 多 40% 平年並か多い 見込み
東日本	日本海側	低 20 並 40 高 40% 平年並か高い 見込み	少 20 並 40 多 40% 平年並か多い 見込み	少 20 並 40 多 40% 平年並か多い 見込み
	太平洋側	低 20 並 40 高 40% 平年並か高い 見込み	少 20 並 40 多 40% 平年並か多い 見込み	少 20 並 40 多 40% 平年並か多い 見込み
西日本	日本海側	低 20 並 40 高 40% 平年並か高い 見込み	少 20 並 40 多 40% 平年並か多い 見込み	少 20 並 40 多 40% 平年並か多い 見込み
	太平洋側	低 20 並 40 高 40% 平年並か高い 見込み	少 20 並 40 多 40% 平年並か多い 見込み	少 20 並 40 多 40% 平年並か多い 見込み
沖縄・奄美		低 20 並 30 高 50% 高い 見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み	少 20 並 40 多 40% 平年並か多い 見込み

↑  
数値は予想される  
出現確率です

平均気温 夏（6～8月）

北日本  
西日本  
東日本  
沖縄・奄美

低い 確率 (%) 50 40 40 50 高い 確率 (%)  
平年並か40%以上

降水量 夏（6～8月）

北日本(日)  
北日本(太)  
東日本(日)  
東日本(太)  
西日本(日)  
西日本(太)  
沖縄・奄美

少ない 確率 (%) 50 40 40 50 多い 確率 (%)  
平年並か40%以上

梅雨期間降水量

北日本(日)  
北日本(太)  
東日本(日)  
東日本(太)  
西日本(日)  
西日本(太)  
沖縄・奄美

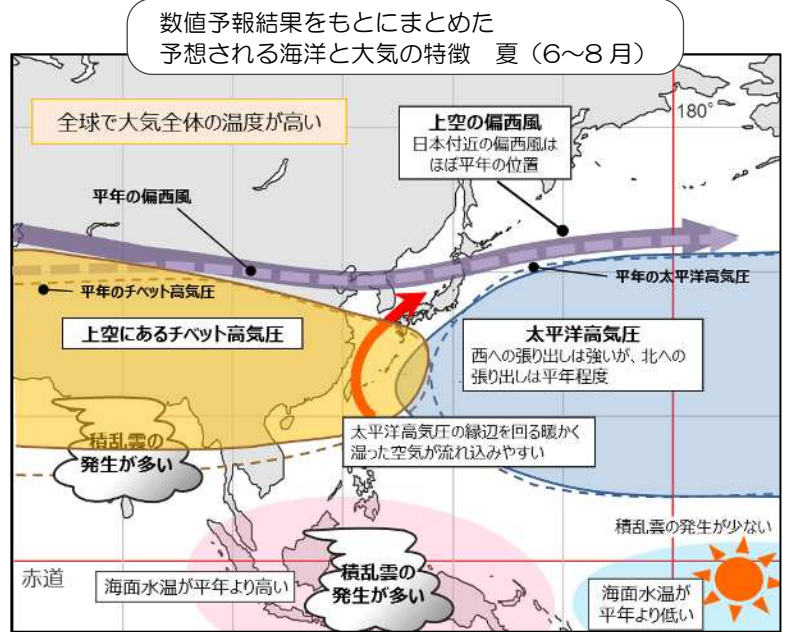
少ない 確率 (%) 50 40 40 50 多い 確率 (%)  
平年並か40%以上

※梅雨の時期・・・北・東・西日本では6～7月、沖縄・奄美では5～6月

季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、末尾の「参考データ（平年並の範囲）」をご覧ください。  
確率をその大きさに応じ言葉で解説しています。詳しくは末尾の「参考データ（確率予報の解説）」をご覧ください。

## 予想される海洋と大気の特徴

- 地球温暖化の影響等により、全球で大気全体の温度が高いでしょう。
- 海面水温は、日付変更線付近では南半球側を中心に低く、その西側で高いことに対応して、インドネシア付近で積乱雲の発生が多いでしょう。
- これらの影響により、上空の偏西風は、日本付近ではほぼ平年の位置を流れるでしょう。太平洋高気圧は西への張り出しは強いですが、北への張り出しは平年程度でしょう。
- このため、沖縄・奄美では、太平洋高気圧に覆われやすい時期があるでしょう。また、北・東・西日本では、太平洋高気圧の縁辺を回る暖かく湿った空気が流れ込みやすいでしょう。



## 最近 10 年間の夏の特徴

年	夏の平均気温 平年差℃（階級）				夏の天候の特徴
	北日本	東日本	西日本	沖縄・奄美	
2011	+1.0 (+)	+0.9 (+)	+0.5 (+)	+0.3 (+)	平成 23 年 7 月新潟・福島豪雨 台風第 12 号で紀伊半島を中心に大雨
2012	+0.7 (+)	+0.6 (+)	+0.4 (+)	+0.1 (0)	平成 24 年 7 月九州北部豪雨 西日本と沖縄・奄美で多雨・日照不足
2013	+1.0 (+)	+1.1 (++)	+1.2 (++)	+0.7 (++)	秋田県・岩手県・島根県・山口県で豪雨被害 東日本太平洋側と沖縄・奄美で少雨 国内最高気温記録更新（当時）
2014	+1.2 (+)	+0.5 (+)	-0.3 (-)	+0.3 (+)	平成 26 年 8 月豪雨 8 月はほぼ全国的に多雨
2015	+0.6 (+)	+0.3 (0)	-0.5 (-)	+0.6 (++)	西日本で低温・多雨・日照不足 北日本と沖縄・奄美は高温
2016	+0.7 (+)	+0.6 (+)	+0.7 (+)	+1.1 (++)	全国的に高温・多照 北日本太平洋側は記録的な多雨
2017	+0.3 (0)	+0.6 (+)	+0.7 (+)	+0.7 (++)	沖縄・奄美を中心に東日本以西は高温 平成 29 年 7 月九州北部豪雨 8 月は北・東日本太平洋側で天候不順
2018	+0.6 (+)	+1.7 (++)	+1.1 (++)	0.0 (0)	平成 30 年 7 月豪雨により西日本を中心に記録的な大雨 東・西日本で記録的な高温
2019	+0.8 (+)	+0.5 (+)	0.0 (0)	+0.2 (+)	梅雨前線の北上が遅れ多くの地域で梅雨明け遅れる 西日本を中心にたびたび大雨 沖縄・奄美では多雨寡照
2020	+1.2 (+)	+1.1 (++)	+0.6 (+)	+0.8 (++)	令和 2 年 7 月豪雨 全国的に高温・多雨 国内最高気温記録（1 位タイ）

階級 --：かなり低い -：低い 0：平年並 +：高い ++：かなり高い

## 参考データ

### ● 平年並の範囲

		平均気温 夏 (6~8月)	降水量 夏 (6~8月)	降水量 梅雨の時期※
北日本	日本海側	平年差：-0.4~+0.3℃	平年比：90~110%	平年比：90~110%
	太平洋側		平年比：92~106%	平年比：92~108%
東日本	日本海側	平年差：-0.1~+0.3℃	平年比：87~116%	平年比：85~117%
	太平洋側		平年比：88~106%	平年比：94~108%
西日本	日本海側	平年差：-0.2~+0.3℃	平年比：92~105%	平年比：92~114%
	太平洋側		平年比：88~107%	平年比：86~104%
沖縄・奄美		平年差：-0.1~+0.1℃	平年比：91~110%	平年比：86~108%

※梅雨の時期・・・北・東・西日本では6~7月、沖縄・奄美では5~6月

「平年並」の範囲は、同時期の過去30年間（1981-2010年）の値から統計的に求めています。30年間のデータの中で「高い（多い）」「平年並」「低い（少ない）」となるデータの数が等分になるように「平年並」の範囲を決めています。すなわち、30年間の30個のデータのうち、値が高い（多い）方から11~20番目となる10個のデータの値の範囲を、おおそ「平年並」の範囲としています。

### ● 晴れ日数と降水日数の平年値

	6月		7月		8月	
	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数
札幌	15.1日	6.5日	13.0日	8.0日	15.4日	8.5日
仙台	11.3日	10.7日	9.7日	13.5日	13.2日	10.6日
新潟	14.3日	10.1日	14.2日	12.1日	20.0日	8.5日
東京	10.7日	11.4日	12.1日	10.3日	16.4日	7.7日
名古屋	12.6日	11.7日	14.2日	12.2日	19.0日	7.7日
大阪	13.7日	11.2日	16.5日	9.9日	21.7日	6.9日
広島	14.3日	10.7日	15.9日	10.1日	20.4日	6.8日
高松	14.6日	10.3日	17.7日	9.4日	21.9日	6.8日
福岡	13.1日	11.2日	15.7日	10.6日	19.7日	8.9日
鹿児島	10.7日	14.6日	17.9日	11.2日	20.5日	10.5日
那覇	15.3日	10.6日	24.1日	8.8日	22.4日	11.8日

「晴れ日数」は「日照時間が可照時間の40%以上」の日数であり、「降水日数」は「日降水量1mm以上」の日数です。この2つは同じ日に起こることがあるため、「晴れ日数」と「降水日数」の両方に数えられる日もあります。

### ● 確率予報の解説（ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています）

出現確率（低い（少ない）：平年並：高い（多い））	解説
高い（多い）確率が50%以上 (20 : 40 : 40)	高い（多い）見込み 平年並か高い（多い）見込み
平年並の確率が50%以上 (40 : 30 : 30) (30 : 40 : 30) (30 : 30 : 40)	平年並の見込み ほぼ平年並の見込み
低い（少ない）確率が50%以上 (40 : 40 : 20)	平年並か低い（少ない）見込み 低い（少ない）見込み